

2020年6月4日～3日

憲法審査会、コロナ、黒川、国会、東京都知事選

国民投票法改正、今国会見送り 衆参憲法審動かず

時事通信 2020年06月03日 18時12分

参院憲法審査会の与野党筆頭幹事は3日、今国会での審査会開催を見送ることを確認した。衆院憲法審も実施の見通しが立っておらず、自民、公明両党が憲法改正の前提と位置付ける国民投票法の改正は、秋に予想される臨時国会以降に先送りされることになった。

参院憲法審は与野党筆頭幹事の会談に先立ち、幹事懇談会を開催。自民党は、参院の審査会で実質討議が2018年2月以来行われていないと指摘しつつ、開催は強行しないと説明。当面は与野党協調の機運醸成に努める考えを示した。

立憲民主党は、与野党が新型コロナウイルス対応に注力しているとして「(審査会を)今開催するような状況にない」とした。

改正案は改憲国民投票の利便性を高めるため、駅や商業施設に共通投票所を設けるなどとする内容。与党などが18年6月に共同提出した。

国民投票法改正案、今国会の成立見送りへ…衆参憲法審の開催メドたたず

読売新聞 2020/06/03 18:26

憲法改正の国民投票の利便性を高める国民投票法改正案は、17日に会期末を迎える今国会での成立が見送られることが確実となった。同改正案は2018年6月に衆院に提出されており、6国会連続で継続審議となる。

参院憲法審査会の石井準一与党筆頭幹事(自民党)は3日、鉢呂吉雄野党筆頭幹事(立憲民主党)と会談し、10日の審査会開催を提案した。鉢呂氏は2020年度第2次補正予算案の審議を優先すべきだとして応じず、今国会中の審議は見合わせることを確認した。

一方、衆院憲法審の新藤義孝与党筆頭幹事(自民)は3日、山花郁夫野党筆頭幹事(立民)と電話で協議し、4日の審査会開催を求めた。山花氏は、野党が要求する衆院予算委員会の集中審議に与党が応じていないことを理由に挙げ、拒否した。

参院憲法審、1年ぶり幹事懇談会 野党「今は開催する状況ではない」

毎日新聞 2020年6月3日 17時18分(最終更新 6月3日 17時18分)



国会議事堂＝川田雅浩撮影

参院憲法審査会は3日、約1年ぶりに幹事懇談会を開いた。与党は実質的な審議の早期再開を要請したが、野党は慎重姿勢に徹し、平行線に終わった。参院憲法審は2018年2月以降、実質審議が行われていない。

終了後、与党筆頭幹事の石井準一氏(自民党)は「今日を第一

歩に開催に向けた努力をしたい。強引に審査会開会を決断することはあり得ない」と述べた。野党筆頭幹事の鉢呂吉雄氏(立憲民主党)は「今は開催するような状況ではない」と語った。

憲法論議は、衆院憲法審でも国民投票法改正案の早期採決を求める与党に対し、野党が慎重論を唱え、足踏み状態になっている。

【遠藤修平、宮原健太】

参院憲法審開催は平行線 与野党、今国会初の幹事懇

産経新聞 2020.6.3 13:55

参院憲法審査会は3日、幹事懇談会を開き、17日が会期末の今国会中の審査会開催をめぐり協議した。与党は開催へ協力を求めたが、野党は慎重姿勢を示して平行線に終わった。幹事懇は今国会初めて。参院憲法審は平成30年2月以来、実質的議論が行われていない。

終了後、与党筆頭幹事の石井準一氏(自民党)は記者団に「強引な開会に向けて決断するようなことは絶対あり得ない」と丁寧に進める意向を強調。野党筆頭幹事の鉢呂吉雄氏(立憲民主党)は、衆院憲法審での国民投票法改正案の扱いを見極めたいと語った。

衆院憲法審では、与党が投票の利便性を公選法にそえる改正案の早期採決を求めているが、野党と折り合っていない。

参院「憲法審査会」 今国会での実質審議見送りへ

ANN2020/06/03 21:50



参議院の憲法審査会は幹事懇談会を開いて審査会の開会について与野党が協議しましたが、合意に至りませんでした。

参議院の憲法審査会では2018年2月以来、実質、審議が行われていません。自民党側は「強引な開会を決断することはあり得ない」とし、与野党合意のうえで開催したいと強調しました。これに対して野党側は「新型コロナウイルスへの対策が最優先」などと開催に反対し、今月17日が会期末となる今国会での実質審議は見送られることになりました。一方で、日本維新の会の馬場幹事長は審査会で3年近く議論がなされていない状況を「異常な状態だ」として、自民党の林芳正憲法審査会長の不信任動議を提出する考えを明らかにしました。

野党、疑惑3点セットを追及 10兆円の巨額予備費も標的に

2020/6/3 19:35 (JST)6/3 19:39 (JST)updated 共同通信社



第2次補正予算案の予備費に関する野党合同ヒアリング＝3日午後、国会内

立憲民主党など野党は3日、安倍晋三首相が出席する来週の

2020年度第2次補正予算案審議に向け、追及ポイントを絞り込んだ。10兆円の巨額予備費の他、新型コロナウイルス対策の持続化給付金事業など「疑惑3点セット」（立民幹部）が標的。国会最終盤の見せ場として、政権にダメージを与えたい考えだ。

コロナ対応を目的とした予備費を巡り、野党は合同ヒアリングを開催。国民民主党の原口国対委員長は「あまりに過大（国会中心主義の）憲法の趣旨から認められない」と指摘した。財務省は、予備費は憲法で認められているとし「感染状況に臨機応変に対応しなければならない」と理解を求めた。

2次補正予算案予備費10兆円、野党「白紙委任は認めず」

JNN2020年6月3日 18時59分

第2次補正予算案で、新型コロナウイルス対策として計上された10兆円の予備費について、野党側は「白紙委任は認められない」として、減額を求めていく方針で一致しました。

来週、政府が提出する予定の第2次補正予算案では、使い道が決まっていない予備費として異例の10兆円が計上されていて、野党の国会対策委員長会談では、組み替え動議の提出を視野に減額を求めていく方針で一致しました。

「白紙で10兆円好きに使ってくださいということを認めたら、議会の自殺行為になると思っています」（立憲民主党 安住淳国対委員長）

野党側は、これまでの予備費に比べて10兆円は巨額で、使い道についても国会の事前チェックが効きにくいことから、「白紙委任は認められない」と強調しています。

これについて、3日午後、野党の勉強会に出席した財務省の担当者は、「この予備費は新型コロナウイルスの感染拡大防止策に使い道が制限されている」などと説明しました。

10兆円の使い道は？「97%再委託」入札経緯は？

ANN2020/06/03 23:30

国会では、新型コロナウイルス対策をめぐる「予備費」が問題になっています。過去には、リーマンショックの時には約1.3兆円、東日本大震災の時には約1.7兆円でした。今回は、第二次補正予算案で過去に前例のない10兆円が計上され、野党が反発しています。

予備費とは、自然災害などの不測の事態に備えて、内閣の判断で機動的に使うことができる予算のことです。あらかじめ使い道を決めなくてもよく、事前に国会で議決する必要もありません。野党は、安倍政権がコロナ対応や黒川前検事長問題での追及を避けたいという思惑から、国会審議が伴う予算を改めて組まなくても済むよう、予備費を過剰に積んだのではないかとみえています。さらに、国会のチェックが行き届かないとして、無駄遣いにもつながると追及しました。

共産党・塩川議員：『「コロナ」と名前が付けば、何でもやれるということにならないか』

菅官房長官：「感染症に係る緊急を要する経費に限り使用することとしている」

野党側は予備費の減額を求めていく方針です。

また、持続化給付金の手続き業務をめぐり、政府から委託を受けた『サービスデザイン推進協議会』が、ほとんどの業務を大手広

告会社電通に再委託した問題について、野党は、業務実態が不透明などと追及しました。

立憲民主党・大串議員：「97%再委託だと知っていたら落札させたのか」

梶山経済産業大臣：「再委託を一律禁止していないので、このなかで採択した」

さらに、受託した団体を含む3社から入札公示前に、ヒアリングをしていたことも明らかになりました。

立憲民主党・大串議員：「これは競争入札というのか。本当に公正透明なプロセスで行われたのか。極めて不透明な感じがする」

梶山経済産業大臣：「入札公告で時に仕様書を出さなければならないことで、仕様書を固めるためにも手前で何社かから話を聞いている」

野党は、これらの問題について、総理出席の集中審議を求めています。与党は応じない構えです。

立憲・芝氏を名指し批判 国民・舟山氏

時事通信 2020年06月03日 23時19分

国民民主党の舟山康江参院国対委員長は3日の記者会見で、野党共同会派を組む立憲民主党の芝博一参院国対委員長を名指しで批判した。参院では立憲と国民の主導権争いがなお続いており、足並みの乱れが改めて浮き彫りになった形だ。

舟山氏は今国会について「ことごとく衆院側で参院の日程が決まっている」とし、芝氏はこれを容認しているとして「問題が多い」と断じた。

また、参院で予算審議の時間を十分確保できていないと不満を表明。「（芝氏は）安易な妥協をしてはいけない」と述べた。

黒川前検事長処分、「懲戒せず」は森法相判断 菅官房長官

時事通信 2020年06月03日 21時01分

菅義偉官房長官は3日の衆院内閣委員会で、賭けマージャン問題で辞職した黒川弘務前東京高検検事長を「訓告」処分とした経緯に関し、国家公務員法に基づく懲戒処分にしなないと決めたのは森雅子法相の判断だったと述べた。野党共同会派の今井雅人氏への答弁。

菅氏は「法令上、検事長に対する懲戒処分を行う懲戒権者は任命権者である内閣だ」と説明。一方で「内閣が任命権を有する者についても、個別事案で懲戒処分を行うか否かも含め、通常、まずは所属庁の長として行政事務を分担管理する国務大臣が検討することになっている」と語った。

黒川氏懲戒見送り「法相が検討」 菅長官、内閣判断を否定

2020/6/3 19:10 (JST) 6/3 22:45 (JST) updated 共同通信社



衆院内閣委で答弁する菅官房長官=3日午後

菅義偉官房長官は3日の衆院内閣委員会で、賭けマージャン問題で辞職した黒川弘務前東京高検検事長を訓告とした処分に関し、懲戒処分を見送ったのは安倍内閣の判断という野党側の指

摘を否定した。国家公務員法では懲戒権限は内閣だけに与えられているが、懲戒にするかどうかの検討は運用で閣僚が行っているとの見解を示した。森雅子法相の判断に従ったとの答弁を繰り返した。

検事長は内閣が任命。訓告は国家公務員法の懲戒ではなく、検事総長による監督上の措置。

野党会派の今井雅人氏（無所属）は内閣が黒川氏を懲戒処分にしなないと決定したため、検事総長が訓告処分にしたのではないかとただした。

都知事選、野党共闘困難に 宇都宮氏支援、国民民主慎重

時事通信 2020年06月03日 21時22分

立憲民主党は小池百合子知事の任期満了に伴う東京都知事選（18日告示、7月5日投開票）で、無所属の宇都宮健児元日弁連会長の支援で野党共闘態勢の構築を目指す。ただ、共産、社民両党が前向きなのに対し、国民民主党は慎重で、共闘の実現は困難な情勢だ。

立憲の長妻昭選対委員長は3日夜、市民団体主催の都知事選集會に出席し、宇都宮氏支援を表明。「社会の矛盾がはっきりした今がチャンスだ。力を合わせ、東京に新しい価値観を花開かせたい」と呼び掛けた。

立憲、国民、共産、社民各党は、都知事選で統一候補を擁立する方針で一致している。次期衆院選での共闘に弾みをつける狙いもあるようだ。同じ集會で、共産党の小池晃書記局長は「共闘態勢をつくりたい。宇都宮知事実現のために勝利しよう」と訴え、社民党の吉田忠智幹事長は「宇都宮氏勝利へ全力で戦い抜く」と強調した。

集會には、各党幹部の退席後に宇都宮氏も姿を見せ、「心強い言葉を頂いた。皆さんと一緒に勝ち抜きたい」と声を張り上げた。

国民は同日の執行役員会で「党としての支援は見送るべきだ」との意見が大勢を占めた。玉木雄一郎代表は記者会見で「宇都宮氏を推薦する予定はない」と明言。「最終的に誰をどういう形で応援するかは未定だ」と述べるにとどめた。

国民、宇都宮氏を支援せず 都知事選、野党統一候補は困難に

2020/6/3 16:41 (JST) 共同通信社



5月27日、東京都知事選への出馬を表明する宇都宮健児氏

国民民主党の玉木雄一郎代表は3日の記者会見で、任期満了に伴う東京都知事選（7月5日投開票）に立候補を表明した元日弁連会長の宇都宮健児氏について「党として組織だって応援することはしない」と述べた。野党第1党の立憲民主党は宇都宮氏を支援する方針で、野党統一候補の擁立は困難な情勢となった。

玉木氏は「野党第1党から候補者が出れば野党統一候補にしようと考えていたが、そうではなくなった」と指摘。3日の役員会で宇都宮氏への対応を議論したと説明し「これまでの経緯や支

援組織との関係を総合的に勘案し、応援しないことになった」と語った。

立憲、宇都宮氏支援へ 自公は小池氏推薦方針 都知事選構図固まる

毎日新聞 2020年6月3日 19時59分(最終更新 6月3日 20時19分)



新宿の高層ビル群。中央は東京都庁＝東京都新宿区で2020年4月、本社へりから吉田航太撮影

立憲民主党は東京都知事選（18日告示、7月5日投開票）で、無所属での立候補を表明している元日本弁護士連合会会長の宇都宮健児氏（73）を支援する方針を固めた。自民、公明両党は現職の小池百合子知事（67）を推薦する方針で、知事選を巡る主要政党の構図がほぼ固まった。与野党とも、一枚岩の支援態勢を組めるかが課題になる。

立憲都連会長を兼ねる長妻昭代表代行は3日、都政転換を訴える市民団体の集會に出席し、「都政にかける思いに共感した。私は宇都宮さんを応援していきたい」と表明した。長妻氏と枝野幸男代表は2日に会談し、独自候補の擁立は難しいとの認識で一致している。4日の都連常任幹事会で、宇都宮氏への支援を決める見通しだ。

宇都宮氏は2012年と14年の都知事選に共産、社民両党の支援を受け、無所属で出馬。いずれも90万票超を得て次点となった。共産党は今回も、すでに宇都宮氏支援の意向を示し、穀田恵二選対委員長は3日の記者会見で、立憲の対応について「心から歓迎したい。小池都政への批判を集めて、勝利のために全力を挙げたい」と語った。

もともと立憲は「野党第1党」として野党統一候補の擁立を主導したい考えだった。前川喜平・元文部科学事務次官や蓮舫参院議員に出馬を打診したが、新型コロナウイルスの感染拡大で状況は一変。両氏は固辞し、コロナ対応にあたる小池氏の支持率が上昇すると、対決ムードはしばみ始めた。

最後まで望みをかけたのは、知名度の高いいわ新選組の…残り1343文字（全文1966文字）

立共社、都知事選で宇都宮氏支援へ 国民民主は応援せず

日経新聞 2020/6/3 18:30

立憲民主、共産、社民の野党3党は3日、7月5日投開票の東京都知事選に無所属で出馬を予定する元日本弁護士連合会会長の宇都宮健児氏を支援すると表明した。国民民主党は3日、宇都宮氏を支援しない方針を確認した。野党統一候補の擁立は難しい状況だ。



東京都知事選を巡り、市民団体との集會に

出席した野党幹部（3日、東京都千代田区）=共同
国民民主の玉木雄一郎代表は記者会見で「野党第1党から候補者が出れば野党統一候補にしようと考えていた」と説明した。「これまでの経緯や支援組織との関係を勘案し、党として組織だっただけで応援することはしない」とも語った。
共産党の穀田恵二選対委員長は3日の記者会見で、宇都宮氏を支援する考えを示し「勝利のため全力を挙げたい」と述べた。野党共闘について「形態にはこだわらず、支援の努力を積み重ねれば何らかの形になる」と述べた。

国民・玉木氏「宇都宮氏の推薦予定ない」 都知事選

産経新聞 2020.6.3 15:39

国民民主党の玉木雄一郎代表は3日の記者会見で、東京都知事選（18日告示、7月5日投開票）をめぐる、立候補を表明した元日弁連会長の宇都宮健児氏について「推薦する予定はない。党として組織立って応援するようなことはしない」と述べた。立憲民主党や共産党は宇都宮氏を支援する方針だが、野党共闘は限定的になりそうだ。

玉木氏は会見で、3日の党役員会で宇都宮氏の推薦見送りを決めたことを明らかにした。「野党第一党から候補者が出れば野党統一候補として応援しようと考えていた。（宇都宮氏については）これまでの経緯や支援組織の関係も勘案し、推薦はしないことになった」と説明した。

国民民主内には現職の小池百合子知事を支援すべきだとの声がある。玉木氏は小池氏に関し「（役員会で）さまざまな意見があったが、結論は出ていない」と述べるにとどめた。また「都知事選にどう臨むかは検討の最中だ。さまざまな要素を考慮して判断していきたい」とも語った。

共産、立民の都知事選支援を歓迎 「宇都宮氏勝利へ全力」

産経新聞 2020.6.3 13:56

共産党の穀田恵二選対委員長は3日の記者会見で、立憲民主党が7月の東京都知事選で元日弁連会長の宇都宮健児氏を支援する方針を固めたことについて「心から歓迎したい」と評価した。その上で「私たちも支援し、宇都宮氏勝利のため全力を挙げたい」と述べた。

都知事選で支援、それとも自主投票？ 自民、小池氏との距離感に悩む

産経新聞 2020.6.3 20:11

東京都知事選（6月18日告示、7月5日投開票）をめぐる、自民党が再選出馬が確実視される小池百合子知事の支援のあり方を決めかねている。都知事選と同日に投開票される都議補選で、小池氏が特別顧問を務める地域政党「都民ファーストの会」と自民都連が対決する可能性があるためだ。都連は競合が回避されない限り、小池氏の支援は難しいとの考えを示している。

「釈迦（しゃか）に説法だが、『全力を尽くして新型コロナウイルスとの戦いに勝利するよう頑張ってください』と申し上げた」

自民党の二階俊博幹事長は3日、党本部で新型コロナ対策について小池氏と意見を交わした後、2人そろって記者団の取材に応じ、こう語った。都知事選に関するやり取りがあったのかという

問いには、互いに「特になかった」と口をそろえた。

その後、小池氏は女性政策推進に取り組む議員連盟「女性議員飛躍の会」の共同代表を務める稲田朋美幹事長代行らと面会。二階氏はこれにも同席し、小池氏との蜜月ぶりをアピールした。

自民党は既に独自候補の擁立を見送っているため、都知事選の対応は小池氏の推薦か支持、自主投票の3通りが想定される。もっとも、二階氏は早くから旧知の仲である小池氏の再選を後押ししてきた経緯があり、要請があれば推薦する構えだ。小池氏も新型コロナ対応との名目で自民幹部の元に足しげく通い、再選に向けて着々と足元を固めてきた。

しかし、都民ファーストが1日付で都議補選北区選挙区（欠員1）に元タカラジェンヌの天風いぶき氏の擁立を決めたことに対して、都連からは反発の声が上がっている。ある幹部は「補選で都民ファーストと戦うことになる中、知事選で小池氏を応援するのは矛盾する」と強調。「このままでは都連の仲間に筋の通った説明をするのは難しい」と話す。

PR 党本部は事前に都連から相談を受け、小池氏に調整を求めてきたが、小池氏は3日の二階氏との会談後、党幹部に「擁立しないよう都民ファーストを説得したがダメだった」と伝えた。

都連内には、小池氏と親しい二階氏の調整力に期待を寄せる声も少なくないが、都連重鎮は小池氏との関係改善は困難と指摘した上で、都知事選の見通しをこう語った。

「たとえ『小池支援』でいくことになっても、一枚岩で戦うことは情動的に無理だ」（広池慶一）

都知事選 野党統一候補は困難に

NHK首都圏 06月03日 17時32分

今月18日に告示される東京都知事選挙について、共産党と社民党が立候補を表明している宇都宮健児氏を支援する方針を明らかにしたのに対し、国民民主党は、支援しないことを決めました。立憲民主党も含め野党4党は、統一候補の擁立を目指してきましたが、困難な情勢となりました。

今月18日告示、来月5日投票の日程で行われる東京都知事選挙について、立憲民主党、国民民主党、共産党、社民党は、野党4党で共闘できる統一候補の擁立を目指してきましたが、調整は難航していました。

こうした中、共産党の穀田選対策委員長は、立候補を表明している日弁連・日本弁護士連合会元会長の宇都宮健児氏について、「姿勢や考え方を歓迎するという立場だ。小池都知事の行ってきた都政に対する批判の声をしっかり集め、勝利のために全力を挙げたい」と述べ党として支援する方針を明らかにしました。

また、社民党の福島党首も、「宇都宮氏とは政策も近い。党として応援することを前向きに検討したい」と述べました。

一方、国民民主党の玉木代表は、記者会見で、「これまでの経緯や支援組織との関係などを総合的に勘案して、宇都宮氏に推薦や応援はしないことになった」と述べました。

立憲民主党は4日、東京都連が対応を協議することにしていますが、野党4党が目指してきた統一候補の擁立は困難な情勢となりました。